家庭学習の手引き

自ら学ぶ子をめざして

１　早ね・早起き・朝ごはん・歯みがき

＜基本的生活習慣＞

２　時間を決めて、毎日決まった場所で。テレビを消して。

＜学習環境＞

３　まずは、宿題。ほかにもできたら、自主学習。

＜学習習慣の定着＞

◎家庭学習の約そく　家の方と相談して書きましょう。

３年　　組	
４年　　組	

千葉市立越智小学校

じどうのみなさんへ

めあて・・・学校で学習したことが身につくよう、宿題や予習・ふく習をする。
〇進んで行いましょう。
〇まずは、宿題から　取り組みましょう。ほかにもできたら、自主学習を。
〇毎日３０分から４０分は、学習しましょう。

はじめる前に

★家に帰ったら、まず、れんらく帳や学校からのおたよりを、家の方にわたしましょう。
★つくえなど学習する場所の整理整とんをしましょう。
★姿勢やえんぴつの持ち方にも気をつけましょう。

自主学習のヒント

【国語】

＜音読＞
・正しく読めるように、毎日、練習しましょう。
・大切なところはどこか考えたり、様子や気持ちを想像したりしながら、読みましょう。
＜言葉集め・意味調べ＞
・国語辞典(じてん)や漢字辞典(じてん)を使って、言葉を調べたり、集めたりしてみましょう。
＜漢字＞
・正しい書き順(じゅん)で、形を整えて書けるようにしましょう。
・「とめ」、「はね」、「はらい」に気をつけて、ていねいにくりかえし練習しましょう。
＜読書＞
・いろいろなしゅるいの本を読みましょう。
＜日記・感想文＞
・楽しかったことや思い出にのこったことなどを日記に書きましょう。
・本を読んで感じたことや考えたことを、書きましょう。

【算数】

・その日に学習した問題を、もう一度といてみましょう。
・学習した問題とにている問題を作り、といてみましょう。
・問題の文章を読み、わかったことなどを絵や図（テープ図や線分図、数直線など）に表してみましょう。

【理科・社会など】

・学習にかんけいのあることや「おもしろそうだな」と思ったことを地図や図かん、事典、インターネットなどで調べてみましょう。
・自分で調べたことをノートや手作り新聞にまとめてみましょう。
・新聞を読んで、きょうみがある記事を見つけて感想を書いてみましょう。

そのほか

・次の日の時間わりをそろえ、持ち物をじゅんびしましょう。
・ふでばこのなかみをたしかめましょう。
（けずったえんぴつ５本、赤青えんぴつ１本、消しゴム１こ、名前ペン、じょうぎ）

※見えるところにはって毎日の家庭学習に役立てましょう。

保護者の皆様へ

３・４年生の家庭学習について

中学年は

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙（言葉）が増え、抽象的な思考ができるようになると言われていますが、低学年に比べて学習もやや抽象的になり、戸惑うことや苦手意識を持つこともあります。自信を持たせたり意欲を高めたりするような励ましが必要です。

家庭時間のめやす
１０分×学年
30～40 分

家庭学習の習慣づけ

（１）家庭学習を習慣化するためのポイント

〇毎日必ず学習させましょう。（できれば学習する時間帯を決めて）
〇はじめに机の上を整頓させてください。
〇テレビを見ながらなど、「ながら学習」は避けるようさせてください。
〇まず宿題に取り組ませ、余裕があれば、自主学習に取り組ませましょう。
〇姿勢や鉛筆の持ち方などにも注意させましょう。

（２）発達段階による家庭学習のめやす

低学年	中学年	高学年
〇学校の宿題はできる。 〇宿題以外の学習にも、興味や意欲を持つ。	〇学校の宿題は確実にできる。 〇宿題以外にも、少しずつ自主的な学習ができる。	〇宿題が出なくても基本の学習を進んで行うことができる。 〇自分の興味や必要性に合わせた自主学習ができる。

（３）家庭学習の時間のめやす

〇（１０分×学年）程度が目安です。…例えば、６年生なら　１０分×６＝６０分
・宿題の分量により、宿題だけを行う日、自主学習も行う日と変えて構いません。
・習い事等があり自主学習ができないときでも、宿題には必ず取り組ませましょう。

（４）家庭学習の方法（下のような学習を参考にしてください。）

国語	算数	その他（社会・理科など）
・漢字練習 ・意味調べ ・日記 ・音読・視写・詩の暗唱 ・感想文	・計算練習 （ドリル・教科書の問題） ・算数日記（今日の学習内容を自分でまとめる。） ・習った学習の問題作り	・勉強したことに関係することを資料などで調べる。 ・興味を持ったことを調べる。 ・学習内容をもう一度ノートにまとめる。
日常生活	・読書に取り組ませましょう。 ・わからない言葉、漢字などを辞書で調べる習慣を付けさせましょう。 ・漢字・ローマ字・アルファベット・かけ算九九などの表、地図や地球儀、図鑑などを身近に置き、様々なことに興味を持つきっかけづくりをしましょう。 ・自然や生き物とふれあいを持たせ、観察させてみましょう。	

お願い

☆自分から進んで机に向かうこと、集中して取り組むことを習慣付けさせましょう。

☆やる気の源は、ご家庭での温かい助言や励ましの言葉です。できたときには「よくできたね。」などの声を掛け、たくさん褒めてあげましょう。次も頑張ろうという意欲につながります。

☆中学年でも、宿題や持ち物の確認などの手助けが必要です。急に手を離すことなく、徐々に自分でできるように支援していきましょう。